

< 2020年度 活動報告 ・ 2021年度 活動計画 >

放射線・線量委員会

放射線・線量委員会/委員長

小田雄二

2021年6月4日

目次

1. 放射線・線量 委員会の概要

1.1. 委員会組織

1.2. ステークホルダ相関図

2. 2020年度 活動報告

2.1. 2020年度 主なコンタクト団体

2.2. 主な活動報告

3. 2021年度 活動計画

3.1. 活動計画概要

3.2. 情報インプット・アウトプット / 国際規格開発の動向確認

3.3. 国内市場の動向確認 / 国際連携

3.4. 活動計画（個別）

委員会概要

1.1 放射線・線量 委員会の概要

■ 委員会組織

〔業務担当理事〕

木村 純一（医建エンジニアリング）

〔委員会〕

委員長 小田 雄二（富士フィルムヘルスケア）

副委員長 中山 徹（島津製作所）

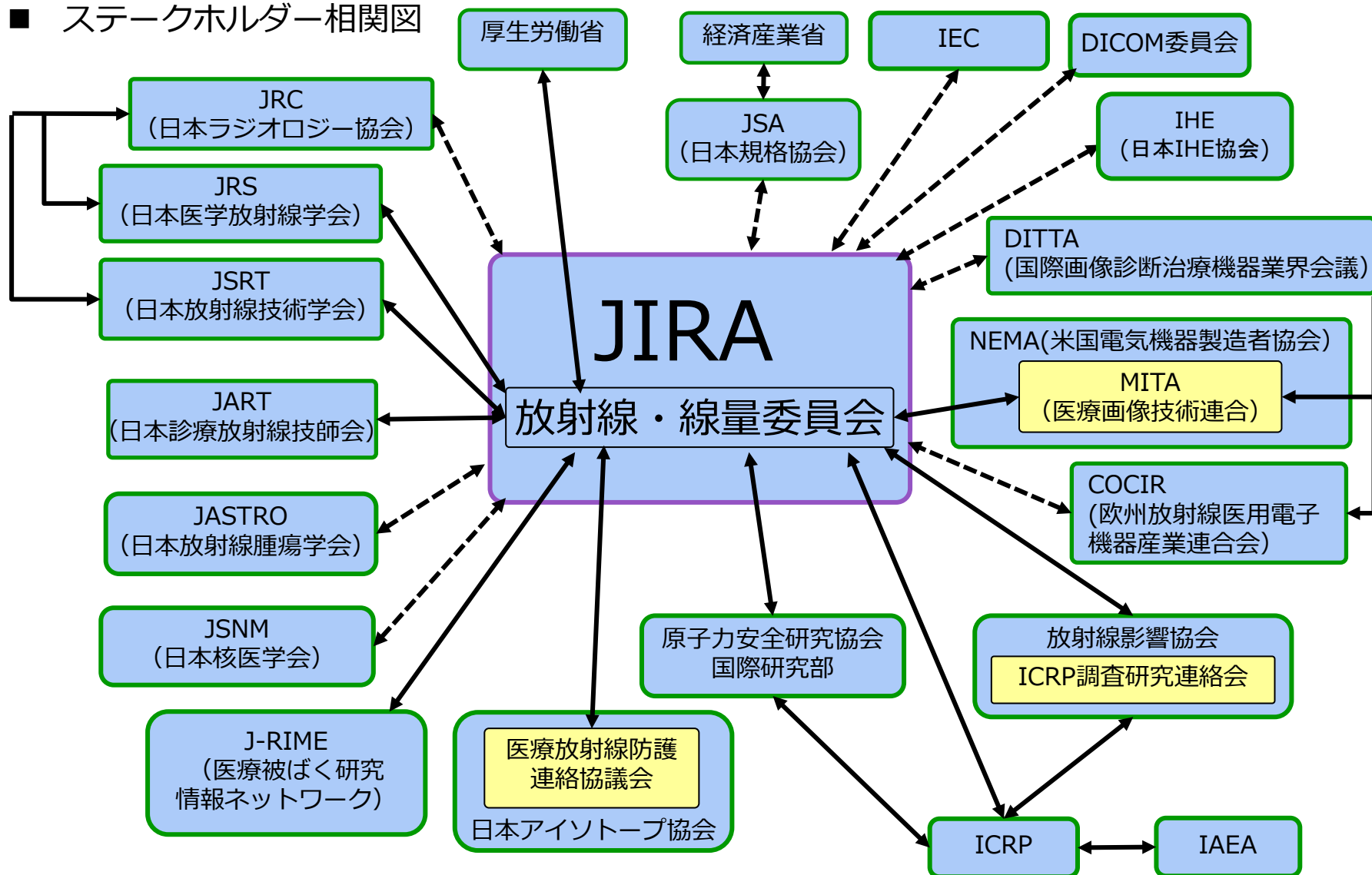
副委員長 桑原 健（富士フィルム）

委員 27名 (2021/6/4時点)

- 放射線機器に関連する部会(標準化部会、法規・安全部会、システム部会、経済部会、国際委員会、広報委員会)からの代表者、及び公募委員により構成する。
- 各部会・委員会横断的な委員会を組織している。

1.2 放射線・線量 委員会の概要

■ ステークホルダー相関図



2020年度 活動報告

2.1 2020年度 活動報告 (放射線・線量委員会)

■ 2020年度 主なコンタクト団体

No.	コンタクト団体	主な担当者	目的等
1	ICRP調査研究連絡会	小田雄二(委員長)	ICRPの調査・研究動向の確認
2	J-RIME	小田雄二(委員長) 桑原健(副委員長) 竹之内忍(委員)	J-RIMEの動向調査
3	放射線影響協会	竹之内忍(委員)	ICRPの調査・研究動向の確認
4	放射線障害防止中央協議会	竹之内忍(委員)	放射線安全管理研修会
5	MITA(XR-G/GF W)	小田雄二(委員長)	MITAジョイントによる北米規制等の調査
6	厚生労働省	小田雄二(委員長)	被ばく管理に関する提案等

■ 北米等との連携

- 北米MITA・Xrayグループに参画し、米国行政による規制に対する事前確認・意見提出、アカデミアからの市場提起に対する対応等、を確認・委員会内周知により、主に米国における規制等の事前認識を行った。

■ 新型ウィルスへの対応

- 国内アカデミアによる新型ウィルス診断に対する手立ての提案に対して意見を求められ、他部会・委員会と連携し回答にあたった。

■ 厚生労働省の対応

- 厚生労働省より『医療現場の被ばく低減に対する具体的対応』に対する意見を求められた。
- 「X線システムの被ばく低減技術」、「防護医療品の開発状況」、「企業間連携事案」等を紹介のうえ、
- 産業界側からの、医療現場の被ばく低減が加速する市場形成の提起を行った。

2021年度活動計画

3.1 2021年度 活動計画 概要

■ 概要

- With コロナ/ポストコロナを意識したニューノーマルな活動を志向していきます。
- 被ばく低減技術、被ばく管理技術はデジタル技術と強い結びつきがあり、DX (Digital Transformation) が推進される分野でもあります。これらに対する市場要望の把握、情報発信につとめます。

3.2 2021年度 活動計画

■ 情報インプット・アウトプット

- 医療放射線に関わる様々な情報を素早く入手し、一般社会やステークホルダーに適正なご理解をいただくためのアウトプットを行う。
- 具体的にはアカデミア・行政等からのご提案・ご質問への応答、学術大会等でのセッション等である。

■ 国際規格開発の動向確認

- 標準化部会と連携し、国際規格開発の動向を確認し、市場・ステークホルダーへの発信を行う。
- 当工業会で取り扱う各個別規格、線量指標規格、また新しい動きとしてある受入試験・不変性試験規格の開発状況を注視している。

3.3 2021年度 活動計画

■ 国内市場の動向確認

- 経済部会と連携し、線量管理に関わる経済的要望・動向を確認し、将来にわたる適正な線量管理につながる提言等を発信する。

■ 国際連携

- MITA委員会に参画し、市場要望の収集、及び主要製造会社関係者との意見調整を確認し、会員企業への情報発信・周知を行う。

3.4 2021年度 活動計画

■ JSRT秋季学会

- 『医療被ばく情報』、『ユーザー管理』、『機器提供による管理』といったキーワードにてセッションが計画されている。
- 機器が提供する被ばく管理、運用の実態等を報告、提案する予定である。

■ 厚生労働省の対応

- 厚生労働省『医療放射線の適正管理に関する検討会』が再開される計画である。
- 再開の主目的は、「放射線治療病室の在り方」、「放射性医薬品を投与された患者の入院制限」、「医療用放射性廃棄物の規制合理化」等である。
- 各部会/委員会と連携し、市場の課題、合理化にむけた提案等を行う予定である。

JIRA

一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association